

音楽科演奏会

9月7日(金) 第20回アンサンブル演奏会

場所 名古屋音楽大学 博聞館4階 めいおんホール

時間 18時開演予定



PTA会長より

頼りになる仲間 同朋ファミリー



同朋高等学校父母と教師の会
会長 恩田 晃

平素より本校PTA活動にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。本年度PTA会長を務めさせていただく恩田でございます。

創立60周年を迎える伝統ある同朋高校PTAでの大役に重責を感じております。役員の方々々と力を合わせて活動に取り組み務めてまいりますので、今までと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

高校で過ごす3年間は、大人として社会人として世の中に出る前の大切な貴重な時間です。先生方からは、勉強はもとより人生の先輩として多くを学び、生徒みんなで団結して成し遂げる学校行事・部活動には熱中し、時には友・仲間とぶつかり、語り合ったりして得た貴重な経験を基に、将来の自分像とそれに向けた道筋をも自分自身で描き進んでいける人に育ってほしいと願っています。

しかし、現代社会の環境変化のスピード、情報量の多さは、大人でさえも選択することが難しく迷いが生じます。自分の将来を見つめて進路を決めていく子供達も悩んで答えを出そうとしている今、子供自身が『自信を持って』自分の将来に向かって進んで行けるように、我々が人生の先輩として、何を伝え、どのような助言とサポートをして導けるのかと、思い悩んでいらっしゃる方も多いと思います。私もその一人として、先生方、保護者の皆様方とPTAの活動を通じて、いろいろと多くを語り交流を深め、子供と一緒に成長していけたらと思っています。

本年度も、同朋高校の文化を代表する『地域懇談会』、『オープン・フォーラム』をはじめとした、いろいろな学校内外での諸活動があります。情報交換や意見の交流機会として多くの皆様方に参加して頂き、さまざまな場所で、率直なご意見、お考えをお聞かせいただきますようお願い致します。また、新しい自分の発見と、新しい仲間をたくさん見つけて頂けたらと思います。

皆様方の、一層のご支援とご協力をお願いしまして、挨拶とさせていただきます。

第42回地域懇談会

地域懇談会とは、学年・クラスの枠を越えてお住まいの地域や出身中学校ごとに意見を交流し、学びあい、仲間を作る場です。

今年度で42回を迎える地域懇談会。今回は『頼りになる仲間 同朋ファミリー』をテーマに、趣向を凝らし、アットホームな雰囲気で行おうと、各地域の保護者の方と担当教員が打ち合わせを行っています。在学地域をもとに23会場を用意し、6月23日、6月24日、30日、7月1日のいずれかで実施します。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

Schedule [行事予定]

6月	23日 土	地域懇談会
	24日 日	地域懇談会、簿記実務検定
	29日 金	期末考査 [~7月6日(金)]
	30日 土	地域懇談会
7月	1日 日	地域懇談会、ビジネス文書実務検定
	2日 月	芸術鑑賞
	6日 金	PTA合同街頭補導
	8日 日	ビジネスコミュニケーション検定
	9日 月	2年生薬物講演
	11日 水	3限授業 [~17日(火)]

7月	12日 木	1年生交通安全講演、2年生キャリア教育
	13日 金	家庭学習日、三者懇談会
	17日 火	1年生キャリア教育、3年生HIV講演、三者懇談会
	18日 水	家庭学習日、三者懇談会
	19日 木	家庭学習日、三者懇談会
	20日 金	終業式
	22日 日	第1回数学検定
	23日 月	就職四者相談 [~28日(土)]
	27日 金	オーストラリア語学研修 [~8月13日(月)]
	28日 土	地域懇談会まとめの会
8月	20日 月	就職者ガイダンス
	21日 火	第1回学校公開日

9月	22日 水	第2回学校公開日
	24日 金	出校日、1・2年生普通科実力考査、3年生進実テスト
	26日 日	PTAバスツアー
	3日 月	始業式、1・2年生普通科実力考査
	7日 金	音楽科第20回アンサンブル演奏会
	8日 土	3年生保護者進路ガイダンス・学級懇談会
	15日 土	PTA常任委員会、保護者各種ガイダンス、1・2年生学級懇談会
	18日 火	月曜時間割
	23日 日	情報処理検定
	27日 木	文化祭準備
	28日 金	文化祭 [~30日(日)]

同朋
和敬

6

学校通信

Doho High School Community Press
Vol.211 20 JUNE 2018

同朋高等学校

学校通信編集委員会 宇佐美 平岩 平野 杉浦

名古屋市千代田区稲葉地町7の1 TEL 052-411-1159

同朋 和敬

入学式&体育大会特集

Doho High School Community Press

6
Vol.211
学校通信



6月の梅雨時に降る雨を五月雨(さみだれ)といいます。現在の6月は旧暦5月にあたるからです。松尾芭蕉の名句「五月雨を 集めて早し 最上川」をご存知だと思います。

梅雨時に降り続く雨を1つに集めたように最上川の流は早く凄まじいということですが、最初芭蕉は「集めて涼し」と詠みました。しかし、実際に梅雨時の豪雨で増水した急流を川下りした時に命の危険を感じ、「涼し」を「早し」に替えたといいます。1語替えただけでこんなに勢いのある句になるものなのですね。

同朋高等学校長 梅田 功

平成30年度 入学式

学校長式辞

同朋高等学校長 梅田 功

うらかな春を迎え、命あるものが躍動を始める季節となりました。先ほど入学認定をした新入生のみなさん、入学おめでとう。また、保護者のみなさまにも、心からお祝い申し上げます。期待とともに不安も大きいとは思いますが、3年間、本校教職員が丸となって、お子さまの成長を支えてまいりますので、どうぞよろしくお願いを致します。

さて、本日みなさんが正門をくぐったすぐの所に、親鸞聖人の銅像があったと思います。本校は、親鸞聖人の教えを建学の精神に持つ、真宗大谷派の関係学校であり、今年、創立60周年を迎える伝統ある学校です。本校での高校生活の始まりにあたり、みなさんに期待したいことを3つ、お話します。

1つめは、**自分の夢や目標を持って過ごしてほしい**ということです。自分の希望を形にしたものが夢。その夢を叶えるために立てるものが目標です。目標の積み重ねでしか、最終的な夢へ辿り着く方法はないと思っています。今、社会は多様化し、生き方も多様化し、当然ながら、夢や目標も多様化してきました。選択肢が多過ぎて、夢や目標が見つけれないという声もありますが、それだけが理由なのではなく、簡単に見つからないのは、夢や目標が人との関係の中から見つかるものだと思うからです。自分もあの人のようになりたい。話したこともない、憧れの人を見て、夢を持つ場合を否定するものではありませんが、私は、むしろ足元の人間関係を大切に続けているうちに、夢や目標は見つかるものではないかと思います。身近なところでの出会い、すなわち、みなさんが入学したこの同朋高校で、これから始まる、新しい出会いこそが、まさに、自分の夢や目標を見つけることにつながっていると思ひますし、つなげてほしいと思っています。

2つめに、これから出会う同級生や先輩、先生や地域の人たち、大人たち、**一人でも多くの人達と関わり合ってほしい**ということです。十人十色という言葉があるように、一人ひとり、趣味や好み、性格や意見の違う人がいて当然です。大事なことは、本校の建学の精神である「同朋和敬」の精神、一人ひとりの違いを認め、相手の立場に立つということです。自分とは違う人との交わりからの方が、むしろ学べることが多いということもあります。そして、その広い関わり合いの中から、本当に自分が信頼できる仲間や、尊敬できる人を見つけてほしいと思っています。

3つめは、**自分を伸ばすために、挑戦を続けてほしい**ということです。自分が立てた目標は、努力で何とか達成できたとしても、夢を叶える



所まで持っていくのは、至難の業かもしれません。しかし、たとえ夢が叶わなかったとしても、努力したこと、挑戦したことは、決して無駄にはなりません。大事なことは「自分には無理だから」と最初から諦めないことです。たしかに、失敗は怖いし、失敗して人から責められれば傷つく。でも、みなさんは、まだ若いのです。失敗を予測し、事前にそれを回避できれば一番いいのですが、経験の浅いみなさんにそれを望むのは酷です。今は、社会に出る前の準備の時期。学校というこの「小さな社会」の中で起きる挫折は、間違いなく人生の糧になるはず。誰が言ったかわかりませんが、名言があります。「成功の反対は、失敗ではなく、何もしないことだ」。挑戦を続けていくうちに、きっと成長した、新しい自分に出会えると思います。以上、期待したいこととして、**①自分の夢や目標を持ってほしいこと、②色々な人と関わりあってほしいこと、③失敗を怖れず挑戦してほしいこと**の3つをお話しました。

最後に、同朋高校は、自分の夢や目標を持つことを、キャリアデザイン教育やインターンシップなどの中で考えていくことができます。また、普通科・商業科・音楽科の3課程では、それぞれに工夫をこらして、わかりやすく、面白くて、ユニークな授業を心掛けていますし、他にも土曜特別授業や、オーストラリア語学研修、美術系プログラム、医療看護系プログラム、あるいは、生徒達の自主活動も含めて、自分を伸ばしていける装置をたくさん持っていますので、それらを有効に生かして新しい自分をつくり上げていって下さい。この3年間、順風満帆にはいかないことの方が多いと思います。困ったことがあったら、遠慮なく担任の先生や、教科の先生、顧問の先生に相談してください。また、保健室には養護の先生が2名、スクールカウンセラーも4名いて、みなさんの相談に乗ってくれます。周囲の助けを借りながら、これから迫ってくるかもしれない、小さな波から大きな波まで、1つ1つを乗り越えて、成長してくれることを心より願って、入学式の式辞と致します。

来賓祝辞

父母と教師の会 会長 小出 優 様



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

これまで愛情いっぱいに育てられた保護者のみなさまにおかれましても、心よりお慶び申し上げます。

みなさんは、今年創立60周年を迎えます同朋高校を選択し、高校受験を突破され、無事に入学することができました。そして、本日から期待いっぱいの新しい学校生活がスタートします。

高校での勉強面は、今までよりもさらに難しくなります。中学校で学んできたことを基礎にして、新しいことをたくさん学び、その内容を理解しなければなりません。分からない時は、先生方に質問して、納得するようにしてください。面倒見のいい先生ばかりですので、遠慮せずに聞き、理解して次に進んでほしいです。

部活動の面では、通常の授業以外の知識などを身に付けることができます。さらに、スポーツ系であれば、監督やコーチのハイレベルな指導を受けながら、自分自身のスキルアップにつなげていけます。この入学式の後の部活動紹介などを参考にして、自分に合った部活動を見つけてください。

学校行事についても、体育大会・文化祭・オープンフォーラムなどたくさんあります。その多くは生徒主体のものであり、みなさんの得意な場で活躍してください。

また、学区のある小中学校とは違い、いろいろなところから通っている同級生が大勢いる高校で、一生付き合える友達を作ってください。高校時代に培った友情は、きっとこれからの人生で、かけがえのない宝物になるでしょう。

高校生活において、勉強・部活動・学校行事などを経験する中で、自分の良さを再確認しつつ、新たな自分を発見してください。そして、この3年間は楽しいことばかりではなく、悔しいこともあるかもしれません。そのすべてが、自分の糧となるはず。そして、それを卒業アルバムにたくさん刻むことができますよう、先生方も一生懸命バックアップしてまいります。失敗を恐れず、ぜひ「これだ」ということに挑戦してください。

最後になりますが、保護者のみなさまにおかれましては、子供たちがよりよい環境で学校生活を送れますよう、PTA活動に対しまして、ご理解、ご協力、そしてなによりご参加をいただきますようお願い申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

新入生誓いの言葉

新入生代表 108 平原 千裕
(蟹江町立蟹江中学校出身)



暖かな春を感じられる今日、私たち新入生328名は同朋高等学校に入学することができました。本日は、私たちのためにこのような入学式を行っていただき、ありがとうございます。これまでと違った制服や環境に身を包み、大きな期待と希望に満ちていると同時に、不安な気持ちでもあります。

私たちは9年間の義務教育を終え、今日から長いようで短い3年間をスタートさせます。自分で選んだこの道に、時に迷うことや苦しむことがあるかもしれませんが、友達と協力し合い、助け合いながら乗り越えていきたいと思っています。また、当たり前のことができる人間になることを目標とし、さらなる抱負や決意に向かって高校生活を充実したものにしていきます。これからお世話になる先生方、先輩方、私たち新入生を温かい目で見守り、ご指導くださいますよう、よろしくお願いします。

最後に、私たち新入生は、歴史と伝統のある同朋高等学校の生徒として、誇りを持ち、その名に恥じぬような高校生活を送ることをここに誓います。

平成30年4月6日

新任教員紹介

国語科

久野 高大 先生



今年度から国語科の専任教員として勤務することになりました久野高大です。

昨年度までは、本校の非常勤講師として勤務していました。さらに時代を巡れば、生徒として同朋高校の普通科で学んだ記憶がよみがえってきます。

(教員になるという目標を母校で実現することができ、大変うれしく思っています)

時代の変化とともに、先生たちが若くなり、校舎もグラウンドも綺麗になりましたが、「全人教育をとおして、正しい世界観をもつ個性豊かな人間を育成する」といった、かつての教育理念は今も変わらずに残ったままだと感じています。その風土の中で働くことに喜びを感じながら、熱意をもってこれからの日々を精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

家庭科

川瀬 優子 先生



今年度から家庭科教員として勤務いたします。川瀬優子と申します。

大学卒業後は管理栄養士として病院で勤務していましたが、夢だった家庭科教員になるために再び大学へ戻って免許を取得し、現在に至ります。自分の好きなことが仕事となる喜びをかみしめながら、教員生活を送っています。

高校での家庭科は1年間しかありませんが、実習や実践的な内容を多く取り入れた授業を展開し、記憶に残る授業をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

保健体育科

大島 恭郎 先生



今年度より、保健体育科の専任教員として勤務することとなりました。

昨年度までは、非常勤講師として2年間、常勤講師として1年間勤務していました。また、昨年度より野球部の顧問をしています。専任教員として新たな立場から生徒を教え、育てていきます。

保健体育の分野からだけでなく、将来使える知識を身につけ、社会に出てからも重宝される大人になれるように成長を手助けしたいと考えています。



体育大会



今年度の体育大会は、学校創立60周年を記念し
日本ガイシホール名古屋市総合体育館を会場に開催しました。

今年度は創立60年を迎えるということで、初めて屋内での体育大会を日本ガイシホールを会場に行うこととなりました。誰もが初めての体育大会は、3年生企画から開幕し、その後の競技では各群団が用意した応援によって会場は熱気あふれるものとなりました。

生徒たちが力を入れている応援合戦は、今年度は2階席に審査席を設けました。生徒達も審査席から見た視点を取り入れた工夫あるパフォーマンスを展開しました。優勝群団は屋内会場のメリットを活かすために足音を使い、群団が一体となったパフォーマンス。準優勝群団は審査席から見た時に華を演出。3位群団は傘を使い審査席からの視点を意識したパフォーマンス。その他にも、群団を構成するクラスが2クラスと、生徒人数が少ない中、努力した群団など、どの群団もアイデアに溢れた見ごたえのあるパフォーマンスを仕上げました。

初めての日本ガイシホールでの体育大会は、想定を超える時間の遅れなどあり、迷惑をおかけしましたが、子供達一人ひとりの協力によって無事終了し、そして思い出に残る体育大会となりました。

体育大会総務担当 小川幸子



★★★ 大会結果

群団別 競技部門	優勝	赤群団	[310/204/102]
	準優勝	黄群団	[312/206/104]
	3 位	紫群団	[301/202/105]
クラス別 競技部門	優勝		205
	準優勝		206
	3 位		204・310
応援部門	優勝	黄緑群団	[307/209/108]
	準優勝	黄群団	[312/206/104]
	3 位	緑群団	[303/207/111]

責任が自信に

307 服部 雄介 (弥富市立弥富中学校出身)

「絶対に優勝しよう!」
黄緑群団団長に任命された僕は、自分のクラスの前に立ちこす断言しました。1・2年生との群団練習では、参加しやすい雰囲気作りを心がけ、多くの人が参加してくれました。今年の応援合戦は審査員が2階席から審査するということもあり、練習では隊列と手の高さを揃えました。自分だけでなく同じクラスの3年生もリーダーシップをとってくれて、練習では多くの声が飛び交いました。

当日は、会場での練習する時間がなく、「ぶっつけ本番」だったのでとても不安でしたが、練習通り完璧に、楽しんで踊ることができました。結果発表のとき、「3位、緑群団」「2位、黄色群団」と聞いて、1位は自分たちなのか?という焦れたい気持ちになりました。「1位、黄緑群団」アナウンスが聞こえたとき、僕は鳥肌が立ちました。後ろを見るとみんなが喜んでいました。これまでの学校生活の中でいちばんの瞬間でした。

僕は団長という立場を経験し、「責任」という言葉の重さを実感しました。「責任」は人が成長するための大きな役割であると思いました。責任を自ら負うのはとても勇気のいることでしたが、その経験が自信になりました。頑張ったことすべてが結果につながることはないけれど、今回は大成功という貴重な経験になりました。みんなから見た「団長」はどうだったか分からないけれど、ついてきてくれたみんなに感謝しかありません。ありがとうございました。



団結力が結果につながる

104 村田 百音 (大府市立大府南中学校出身)

高校生活で初めての大きな学校行事である体育大会。不安や緊張もありましたが、先輩方がやりやすい雰囲気を作ってくれて、思い出に残る体育大会になりました。

私が一番心が動いた瞬間は、東西対抗の競技の時に、同じ西グループとなった黄緑群団の先輩方が「応援やるぞー」と言って、スタンドの通路に集まり、群団を超えた応援が始まったことです。今日の古典の授業でも、先生が「これは毎年のことではなく、はじめてのことだな」と褒められ、本当にすごいなと思いました。この応援で、各群団のテンションが上がって、みんなが負けられないという気持ちに切り替わったというのを強く感じました。リレーなど、競技に出場していないメンバーとも、応援席で「緊張するね」などと話しながら、みんな同じ気持ちなのではないかと思いつつ、競技の応援をしていました。出場している選手も、私たちの応援に応えてくれるように、頑張ってくれました。1位や2位の結果を残すこともすごいですが、その種目以外にも出場している選手がたくさんいて、みんながもっと積極的に出場できればとも思いました。

初めての体育大会は、分からないことだらけで、先輩についていく、先輩の指示を待って、それに従うことしかできませんでしたが、来年は2年生なので、1年生が「安心して先輩についていこう」「本気で優勝しよう」と思えるような環境を自分たちで作ることができるように頑張りたいです。

今回の体育大会は、団結力や気持ちが結果につながるということが分かったので、これは高校生活だけでなく、今後の人生も同じだと思います。この気持ちをこれからも忘れずに心がけていきたいです。



先輩の背中から感じたこと

208 毛利 律治 (名古屋市立豊正中学校出身)

去年の自分は、あまり応援の練習に積極的ではありませんでした。しかし、練習をしていくうちに3年生が本気で勝ちたいという気持ちが伝わり、今年は最初から本気で練習しようと思っていました。

今年は自分の部活の先輩が群団の団長をしていました。普段は目立つことをしない先輩ですが、「自分から逃げたくなくて団長をやることにした」という話を聞いて、その勇気はすごいし、機会があれば来年、自分もやれたいなと思いました。

当日の応援合戦で他の群団の作品を見て、どの群団も努力が感じられる良いものでした。結果として黒群団は賞を取れませんでした。みんなで努力したこと、先輩への感謝の思いが得られたことが大切だと思いました。先輩たちは夜遅くまで自分たちのために準備してくれたと聞き、とても嬉しかったです。自分も自分が嬉しいと感じたことを来年積極的にやっていきたいと思えます。もし、賞をもらえたとしたら、賞がもらえたことが嬉しくて、先輩たちが自分たちのために頑張ってくれていたことに気づけなかったかもしれません。賞をとれなかったからこそ、自分は大切なものに気づくことができたと思います。

来年は自分が後輩から感謝され尊敬されるように全力で取り組みたいです。そして、団結力のある群団にしたいです。応援で競技の結果も変えられるような団結をみせる群団を作りたいです。



1年生 フレッシュマン合宿

今年のフレッシュマン合宿は4月18・19の2日間、岐阜県のホテル郡上八幡と西尾市のグリーンホテル三ヶ根を会場に行いました。

開校式に続く全体会では同朋高校での3年間で身につけて欲しい“ちから”についてガイダンスを行いました。

この学年の大学受験から「新大学入試」が始まり、従来の「知識量」を問う形式から、「自分なりの考え」をまとめ発表する能力や、英語の四技能が求められる形式に変更されます。「問題解決能力」「論理的思考力」「プレゼンテーション能力」などと呼ばれるさまざまな“ちから”も要求されます。生徒たちは「しっかりと勉強しなければいけない」という自覚を持ち、集中して聞けていました。

合宿のメインである基礎学力検定試験の取り組みでは、生徒が自分なりに達成目標をたて積極的に学習に取り組む姿や、お互いに疑問点を確認し合う姿が見受けられました。

すべてを一度でクリアしてゆく生徒。躓きながらも諦めず取り組む生徒。1人ひとりのペースは違いますが、同じ空間で合格というゴールを目指した経験を今後の学校生活でも大いに活かして欲しい



と思います。

HR活動や、2日目のレクリエーションでは各クラスの委員長を中心に、クラ連のメンバーが短い準備期間にも関わらず、クラス目標の討議、発表やドッジボール大会の運営を見事に行ってくれました。ここで得た“ちから”も今後、さらに活かして欲しいと思います。

これからの学校生活を通してさまざまな“ちから”をつけていくことが大切です。失敗を恐れず、大いなる好奇心を持って、自分らしい自分を築き上げていける取り組みに挑戦して欲しいと思います。

1年生学年主任 和田 英之



フレッシュマン合宿を終えて

101 川浦 真凜 (名古屋市立東星中学校出身)

フレッシュマン合宿を終えて、いろいろなことができたと思います。

まず友達が増えました。仲間と一緒に助け合い、学んで途中でつまづいた子を応援することによって仲間との絆が深まったと思います。そしてなんといっても最後の日の学年レク。ドッジボール大会に合唱コンクール。イベントに参加することで、自信が持てたり、夢が広がったり…そして何より団結力がより一層強まったと思います。

また、合掌をしてきちんと「いただきます」「ごちそうさまでした」と言うと、「命」というものは大切なのだと改めて感じられました。それは今も心に残っています。これからは嫌いな物でもできれば残さず食べて、与えられた「命」をありがたく受け取っていかうと思います。

104 寺本 悠晃 (津島市立神守中学校出身)

私はこの合宿を通して、大きく二つのことが変わりました。

1つ目は勉強面です。私は中学生の頃の英語の基礎があまり分かっていなかったのを、友達に分からないところを教えられながら勉強しました。そのため、英語の基礎が身につくと共にあまり話したことのない人とも話すきっかけを作ることができ、クラスの人の友情関係を深めることができました。

2つ目は高校を卒業するまでの目標ができました。私はまだ人に何かを手伝ってもらうことがあるので、卒業までには自分だけで物事をこなすことができるような「自立」ができる人間になっていくことを目標にします。そのためには日々、自分のことは自分ですべて行っていく、クラスの人が困っていたら、自分よりも他人のことを大事にして行動していくことを自分の中で大切にしています。今後、目標を実現するよう心がけていきます。



2年生 デイキャンプ・フィールドワーク

2年生は、学科ごとに異なる場所へ遠足に出かけましたが、それぞれのコースで、生徒たちには豊かな学びがありました。

普通科は三重県の「朝明茶屋キャンプ場」のバーベキュー施設で、『ビストロ同朋カレーコンテスト』と題した料理コンテストを行いました。飯盒でご飯を炊くのは難しかったと思いますが、火加減の難しさに苦しみ、煙に目をいぶされながら協力し、楽しそうに準備をしている姿が印象的でした。

商業科は、岐阜県美濃加茂市にある「モンテール美濃加茂工場」と「みのかも健康の森」へ行きました。モンテールは、スーパーなどで販売されているチルドデザートを製造する工場で、徹底した衛生管理の中、シュークリームやエクレーができていく様子を興味深そうに見学していました。みのかも健康の森では、グループごとにバーベキューを行いました。

音楽科は「浜松市楽器博物館」を見学しました。この博物館には世界各地の1300点に及ぶ楽器が地域別、テーマ別に展示されており、生徒たちは興味深そうに展示品に見入っていました。モンゴルの馬頭琴やラテン楽器のボンゴを実際に演奏し、即席のセッションができたなど、充実した時間を過ごしました。

遠足日和の春の日、昼食やバス内の時間を含めて、動き出した新しいクラスの仲を深めながら、充実した一日を送ることができました。

2年生学年主任 日比 伸子



3年生 上山研修

同朋高校の3年生は、毎年4月に学校を代表して、真宗本廟(東本願寺)にて上山研修を行っています。今年も学校を代表する最高学年として、宗教研修にふさわしく整育された標準服姿で、真摯な姿勢で研修に臨むことができました。

4月とはいえ、初夏を思わせる汗ばむような暑い日でしたが、3年前に改修を終えた阿弥陀堂に入ると、その中の涼しさに驚かされました。阿弥陀堂の荘厳さに圧倒されそうになりながら、凜とした空気の中で講話をいただき、静かに「いのち」のあり方についてあらためて考えを巡らせることができました。

午後はクラスごとに清水寺周辺、京都駅周辺、錦市場などを巡り、京都ならではの古都の街並みに触れることもできました。限られた時間ではありましたが、学校生活最後の年を迎える3年生一同にとって、有意義な1日となりました。

3年生学年主任 滝 敏行



Club&Award News

■柔道部

第40回全国高等学校柔道選手権大会
女子63kg級 ベスト16 柿原 宮七(304) 一宮市立大和中学校出身
平成29年度愛知県高等学校新人体育大会
女子団体 第3位
男子60kg級 第3位 長谷 晃希(303) 名古屋市立一色中学校出身
第17回近江杯高校柔道大会
男子60kg級 第1位 長谷 晃希(303) 名古屋市立一色中学校出身
女子48kg級 第3位 伊藤 羅奈(306) 小牧市立小牧中学校出身
女子78kg超級 第3位 宿院 麻帆(310) 名古屋市立植田中学校出身
第72回愛知県高等学校総合体育大会 ※優勝者は東海大会・全国大会に出場
女子48kg級 優勝 伊藤 羅奈(306) 小牧市立小牧中学校出身
女子63kg級 優勝 柿原 宮七(304) 一宮市立大和中学校出身
女子78kg超級 第3位 宿院 麻帆(310) 名古屋市立植田中学校出身

■野球部

日本高等学校野球連盟より善行表彰を受ける
■陸上競技部
第1回名古屋地区陸上競技大会
男子B Class 三段跳 第7位 奥村 集(301) 名古屋市立長良中学校出身
第72回愛知県高等学校総合体育大会陸上競技名南支部予選会
男子走高跳 第5位 奥村 集(301) 名古屋市立長良中学校出身

■女子蹴球部

平成29年度愛知県高等学校新人体育大会女子サッカー競技 第3位
2017年度愛知県高等学校女子サッカーリーグ1部 第3位
■女子バスケットボール部
第72回愛知県高等学校総合体育大会 第5位

■ラグビーフットボール部

第72回愛知県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技名南知多支部予選会
第3位 県大会出場

■乗馬部

2018愛知馬術大会
障害60 第1位 黒田 英巨(201) 名古屋市立長良中学校出身
第2位 熊澤 綾乃(209) 名古屋市立長良中学校出身
障害70 第3位 吉岡 悠馬(202) 名古屋市立宝神中学校出身

2018年岐阜スプリングホースショー

障害飛越60 優勝 小笠原 祐介(302) 名古屋市立日比津中学校出身
第5位 熊澤 綾乃(209) 名古屋市立長良中学校出身
第6位 岡田 美子(204) 名古屋市立守山東中学校出身
障害飛越70 優勝 岡本 めぐみ(204) 大治町立大治中学校出身
第2位 熊澤 綾乃(209) 名古屋市立長良中学校出身
第4位 黒田 英巨(201) 名古屋市立長良中学校出身
第6位 吉岡 悠馬(202) 名古屋市立宝神中学校出身
標準障害飛越90 第3位 舟橋 汰一(304) 東海市立上野中学校出身
第5位 吉岡 陽(301) 名古屋市立汐路中学校出身

■演劇部

名古屋第14地区合同発表会 総合賞

■音楽科

岐阜国際音楽祭コンクール
打楽器部門 第2位(1位該当者なし)・岐阜県教育委員会賞・マリンパワン賞
愛場 乃愛(212) 名古屋市立北陵中学校出身